



新社会党東京都本部委員長

江原ひであきアピール 2007.2

江原ひであき事務所

中野区南台 2-32-1 電話 (03) 3381-7656 FAX (03) 3383-8535

ホームページ <http://www7.ebara.or.jp/ebara-hideaki/>

Eメール hide-eba@cameo.plala.or.jp

新年の決意！

日本の針路を変えるために！
区議選で塚原てつろう君の勝利を期す！

参院選比例で栗原きみ子
東京選挙区で川田龍平の勝利を期す！

日本の針路を変えるために！ 元旦に発信した闘争宣言！から。

21世紀に入って7年目を迎えた。今年は徹底的に戦うことを元旦の宣言とする！

衆議院小選挙区制の導入で日本社会党が壊れ、日本の政治が狂い始めたが特に小泉政治の5年半で人間社会としての日本のあらゆる構造が破壊された。大都市への集中と地方の過疎化。規制緩和による産業と経済構造の破壊と再編。金融資本や大企業の優遇策と中小商工業者の淘汰再編。労働法制改悪で大量の非正規低賃金労働者・貧困層の急増。人間社会としての哲学や理性の軽視、あるいは弱肉強食の論理。強い者、大きいものが弱者を食物にして、さらに強く大きくなる。こうして人間の肉体と心まで破壊した。

列島が荒廃し人心が荒み、詐欺、恐喝、殺人などなど残虐な凶悪犯罪が増える一方だ！なのに、財界はこのような「社会構造の破壊を“改革”と称してさらに進めよ」と言っている。一方ではアメリカと一体となって軍事力を背景に世界制覇をもくろみ大きく踏み込もうとしているではないか。

こうした日本支配層の「意」を受け継いで昨年秋には安倍政権がスタートした。その安倍政権は教育基本法の改悪を強行し、「防衛“省”」昇格を決めた。1/25からの通常国会における阿部首相の施政方針ではアメリカ追随を明らかにするとともに、「美しい国・日本」を標榜し「共謀罪」や改憲手続き法案（国民投票法案）の成立を企て、やがて9条放棄の改憲へと突っ走ろうとしている。

21世紀の「人間社会の在りよう」を創造するとき、このような日本の針路選択は人類の進歩の名において有ってはならない！ 断じて阻止しなければならない！ そのためにあらゆる限りの力を出して戦う！ ことを新年の決意とする。

4月区議選で塚原哲朗君の勝利を期す！

今回の区議選は是が非でも勝たなければならない。前は私自身のカムバックをめざしたが失敗した。最大の敗因は「油断」につきるが、スタ - トの遅れも響いた。そうした反省の上で今回は塚原事務所を新年早々から開設した。塚原君自身も昨秋から駅宣や街宣を行っている。ポスタ - もだいが貼れている。街の噂にも（塚原の立候補）なってきたようだ。

私も参院選など重大な任務を背負っているが、地方から政治を変える意味でも地元中野で塚原君の当選は何としても実現させなければならない。

参院選比例で栗原きみ子、東京選挙区で川田龍平の勝利を期す！

元旦に発信した闘争宣言に記した通り、日本は今、安倍政権の誕生で戦後最大の危機（岐路）に直面している。したがって、われわれが今なすべきことは、安倍政権がめざしている日本の針路を阻止することです。そのためには、夏の参議院選挙で自、公の反対勢力が過半数の議席を獲得しなければならない。しかし、民主党が議席を増やただけでは安倍政治の本質を変えることはできません。また、共産、社民も単独で安倍政治を阻止することはできない。

小泉、安倍と続くこの強大な政治権力に歯止めをかけるには、これまでの政治無関心層まで含めた “ 政治変革の大きなうねり ” を巻き起こすしかありません。その唯一の道は “ 改憲 ” を許さないあらゆる政党や諸政治勢力が総団結して新しい確認団体を立ち上げ、一つになって戦うことです。

今、その新しい確認団体が結成されようとしています。新社会党は小異を残して大同につく決意を固めつつあります。

そのときには、その確認団体の中で、栗原きみ子委員長を先頭にして比例選挙に打って出ます。東京選挙区においても川田龍平君が無所属統一候補として起つ意志を表明しました。この東京の選挙も日本の政治を変革する大きな闘いです。私は小さな新社会党東京の責任者ですが、直面する日本の政治状況を打ち破るために全身全霊を投入して戦います。

あなたも起ってください！ 共に戦いましょう！

‘ 07年2月2日

新社会党：江原ひであき